

小島英明 能の会

第十七回

# 碧風会

# 橋辨慶

はしべんけい

仕舞 景清 観世喜之

狂言 吹取 野村萬斎

能 橋辨慶 小島英明

笛之巻  
弦師



鞍馬の寺に御座候よ、牛若殿。  
夜な夜な五條の橋に御出であつて。  
あまたの人を御斬り候よ……。

能樂百番 橋辨慶

小島英明  
[Red Seal]



二〇〇五年より始めました自身の研鑽の会「小島英明能の会・碧風会」も、本年で十七回目となりました。

能『橋辨慶』は、牛若丸・後の源義経と、義経無一の忠臣となる日本一の剛の者・武蔵坊辨慶との出会いを描いた名曲。今回は、「笛之巻 弦師」の小晝(特殊演出)にて勤めます。五條大橋で刀狩りをする牛若丸を母・常盤御前は諫め、牛若に与えた笛のいわれを語る話が前段となります。母の苦言により今宵ばかりと出かけた夜、五條大橋での運命の出会い。また、狂言『吹取』も五條の橋が舞台。『橋辨慶』同様、現れた女装の人物は…。ご来場を心よりお待ちしております。

### 狂言『吹取』 ふきとり

清水の観世音から月夜に五條の橋で笛を吹けば妻を授けると告げられた男(アド)は、笛が吹けないので、知人(シテ)に代わりに吹いてほしいと頼む。知人と共に五條の橋に出かけ、笛を吹いてもらうとお告げのとおり、女(小アド)が現れるが…。月夜に笛の音。叙情的な趣が、最後はなんと狂言らしい展開に！曲中で実際に演者が笛を吹く珍しい演目。

### 能『橋辨慶』 笛之巻 弦師 はしべんけい ふえのまき つるし

鞍馬寺に預けられた牛若丸であったが、学問もせず毎夜五條大橋で刀狩りをしていて、源義朝の家臣・羽田秋長(ワキ)は牛若丸(子方)を伴い、母・常盤御前のもとを訪れる。次第を聞いた常盤御前(前シテ)は牛若を厳しく叱り、以前に与えた源氏伝来の笛のいわれを伝える。牛若は寺に戻る事を約束し、今宵限り五條の橋へ向かう。《中人》いつもの如く女姿の薄衣を被り通る人待つ牛若丸。そこへ黒鞆の大鎧を着込み大長刀をかついだ武蔵坊辨慶(後シテ)が橋板を踏み鳴らして現れる。人影に気が付いた辨慶だが、女姿に油断して通り過ぎるとすれ違いざまに長刀を蹴り上げられ、戦闘開始。しかし、辨慶が何度も斬りかかれども、牛若丸に散々に翻弄され、遂に降参。互いに名乗り合った二人は主従の契りを結び、九条の御所へ共に向かうのであった。

### 見どころ解説

### 仕舞『景 清』

小島 英明	喜之
観世 和久	和久
地謡 遠藤 耕三	耕三
長山 恒成	恒成
奥川 寛人	寛人
石井 萬斎	萬斎
野村 連	連
内藤 晴夫	晴夫
月崎 成生	成生
福田 成生	成生

### 狂言『吹取』

シテ (何某)	野村 萬斎
アド (男)	内藤 連
小アド (女)	月崎 晴夫
後見	福田 成生

～休憩 15分～

(午後3時20分頃)

### 能『橋辨慶』 笛之巻 弦師

シテ (常盤御前/武蔵坊辨慶)	小島 英明
子方 (牛若丸)	小島 史織
ワキ (羽田秋長)	宝生 常三
笛	栗林 祐輔
小鼓	飯田 清一
大鼓	柿原 弘和
地謡	永島 充
長山 耕三	耕三
坂 真太郎	真太郎
深津 紘	紘
石井 寛人	寛人
金子仁智翔	智翔
後見 観世 喜之	喜之
遠藤 和久	和久
遠藤 喜久	喜久

※終演予定時間 午後4時半頃

日時：令和6年11月16日(土)午後2時始(1時開場)

会場：矢来能楽堂(新宿区矢来町60)

TEL：03-3268-7311

【チケット】S席 [正面指定] 8000円

A席 [脇・中正面指定] 7000円

B席 [自由席] 6000円/学生席 2500円

《9月20日(金)発売開始》

【申込み】カンフェティチケットセンター

TEL：050-3092-0051

(平日 10:00~17:00)

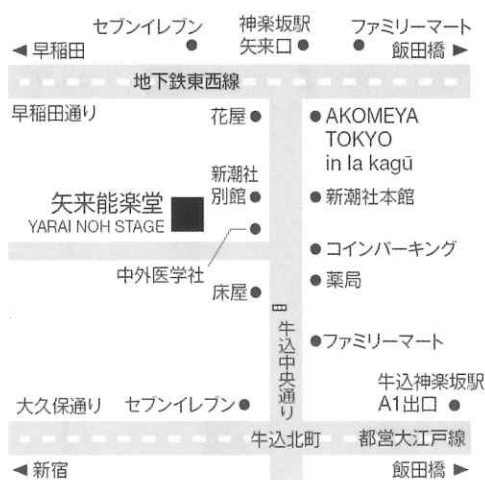
※予約後、セブンイレブンで発券

【問合せ】 臯風会 (こうふうかい)

TEL/FAX：03-6383-2262

E-mail：[koufuukai@work.email.ne.jp](mailto:koufuukai@work.email.ne.jp)

《主催》 臯風会 《協力》 (公社)観世九臯会



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分  
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分  
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

表紙絵：能楽百番「橋辨慶」月岡耕漁(小島家蔵)



小島英明

観世流シテ方。1970年生。観世喜之に師事。国内外の公演の他、能楽普及の為の公演・講座を多数実施。学習院大学法学部卒。臯風会主宰。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽协会会员)。(公社)観世九臯会所属。(公社)能楽協会会員。